

特集

10年ぶりに「しかおい子ども議会」開催

小中高生がまちづくりについて質問



議長を務める高橋菜子さん



8月3日、町内の小中高生が議員になって町長にまちづくりについて質問する「しかおい子ども議会」が、役場議会議場で開かれました。将来を担う子どもたちに、本町のまちづくりについて議論を交わしていただき、自分たちの住むまちに関心を高め、議会の仕組みや役割について理解を深めてもらうことが目的。平成14年以来2回目の開催となりました。

当日は、町内小中高校から選出された9人が参加、議長を除く8人が質問に立ちました。議長役の鹿追高校2年生の高橋菜子さんの議事進行により通常の町議会と同様に一般質問が開始されました。会場には父母や学校関係者、議会議員など約30人が傍聴し、町長とのやりとりを真剣に聞いていました。

一般質問後、吉田町長より「普段、わたしたちが気がつかない質問が出され、みなさんのレベルの高さに敬意を表します。世の中を知ることが大切。これからも学校でしっかり勉強してください」と感謝とお礼の言葉を述べました。

葉が述べられ、子ども議会が開会されました。その後、議会主催の「子どもまちなか会議」が役員委員会室で開催され、議会の仕組みなどの説明や意見交換が行われました。子ども議員からの一般質問要旨と答弁要旨は次のとおりです。（敬称略・質問順）

質問標題

■なぜ町長になったのですか外  
鹿追小6年生 道見美緒



（質問）  
私は「なぜ町長になったのですか。普段はどんな仕事をしていますか。どうしたら町長になれますか」の3点について質問します。

1点目の「なぜ町長になったのですか」について、

「すか」ですが、鹿追町は、花と芝生の美しい町と感じています。そんな町の吉田町長さんはすごいと思います。なぜ吉田町長さんは、鹿追町の町長になろうと思ったのですか。また、どんな町にしたいと思いましたか。

2点目は「普段どんな仕事をしていますか」ですが、入学式や運動会など学校の行事にも参加してくれているのを見ると、本当に大変そうだと思います。そこで普段どんな仕事をしているのですか。

3点目は「どうしたら町長になれますか」ですが、私たちも将来鹿追のために仕事ができたらいいなと思います。私でも町長になって鹿追のために仕事をすることができそうですか。そのためにこれから何をしたらよいですか。

○答弁 吉田町長

最初の「なぜ町長になったのですか」ですが、一口でいいますと「誰かがこの町に住んで良かったと感じることのできるような町にしたい」と考えたからです。私たち町民の誰もが郷土を愛し、自信と誇りを持って鹿追町について語れる町になってほしいと願っているはず。自信と誇りを持って皆さんのように素晴らしい子どもたちに喜んでもらえる

ような町を引き継ぎたいからです。

2点目ですが、役場は町民の皆さまが鹿追町に住んで良かったと思える仕事をしています。このような仕事に真に町民のためになる計画なのか職員が作成した書類の決裁や仕事への指示、町内での会議に出席してお話を聞くなど町民の幸せを願いながら仕事をしております。

最後ですが、町長には誰でもなれますが、そのためには、一生懸命に勉強をしてください。学校での学習、家庭での学習、国際人として英語も大切です。もうひとつ大切なことは、より多くの経験です。家庭でのお手伝いもそのひとつです。私たちの住んでいる鹿追のためになる大人を指してください。

質問標題

■鹿追町にも魅力的なお店が  
できれば  
鹿追小6年生 橋爪亜依



（質問）  
鹿追町は酪農や畑作などの一次産業と観光で成り立っています。

たくさん観光客が1年を通して訪れます。暖かくなると町民ホールの駐車場に数多くのキャンピングカーが見られます。コンビニで食料を買っているのも見られます。せっかく鹿追に来ているのだから地元野菜や肉、乳製品を買って食べてほしいです。地元の食材を使った総菜などを販売してもいいのではないのでしょうか。

あと、地元で100円ショップやCDショップなどがあればわざわざ音更や帯広に行かなくてもすむと思います。

○答弁 吉田町長

私もそんなお店があればいいと思っています。鹿追町は農業の町です。年に169億円の農業収入を得ています。日本の食料自給率は40%を少し割っています。不足分は世界から輸入しています。鹿追町の自給率は3千%です。これは鹿追町の人口の30倍の人たちの食料を生産することになります。もっと地元の野菜や肉、乳製品を食べてもらう工夫が必要なんです。

町では、町民の皆さまが加工した製品の販売努力に応援していきたいと思えますが、一部、道の駅などで販売されていますが、もっと多くの品物がお店に並ぶ日も近いと思いま

質問標題  
■カナダ訪問団との交流学習  
に関わって  
通明小6年生 武藤早希



（質問）  
私たちは今、学校でカナダの勉強を頑張っています。また、

ナダの方々とカナダ訪問団という形で交流学習を行っています。先日、カナダ訪問団のお客さんが通明小学校に来てくださいました。カナダのみなさんと楽しい時間を過ごすことができました。とてもうれしかったです。質問です。カナダの小学生が訪問団として鹿追に来てくれることはできないのでしょうか。私は、私と同じカナダの6年生に好きなことや休みの日にどんなことをして遊んでいるかなど聞いてみたいです。